

# 電子版センターだより

Gunma Prefectural Education Center  
群馬県総合教育センター — No.30 —



令和4年2月28日(月)配信

## <掲載内容>

	頁
1 令和3年度 ぐんま教育フェスタの紹介	1
2 第19回ぐんま教育賞 入賞者紹介	3
3 令和4年度研修講座の変更点と 令和3年度教育研修員研修研究成果について	4
4 教育の情報化推進に向けて	6
5 特別支援教育センター：特別支援学級における ICT 活用	7
6 「保育アドバイザー派遣」について	8
7 自立支援アドバイザーの取組	9
8 当センターへ来所される方へ	10

\*編集後記\*



# 令和3年度 ぐんま教育フェスタの紹介

令和4年2月5日（土）～13日（日）、学校関係者を対象に「ぐんま教育フェスタ」をオンラインで開催しました。今年度は「始動人が創る 新たな時代 ～踏み出す一歩を支える提案～」をテーマに掲げ、5日（土）は「先進プログラミング教育実践モデル校の実践発表」、講師を迎えての「特別講演」を総合教育センターのWebページから視聴できるようにしました。

また、この期間内限定で、長期研修員の発表動画と概要版、長期社会体験研修員の発表動画とリーフレット、特別研修員の概要版をセンターのWebページから視聴・閲覧できるようにして、研究発表を行いました。

## 1 先進プログラミング教育実践モデル校 実践発表



令和3年度の取り組み

- 身の回りのコンピュータに気付く
- マイクロボット体験(1)  
(ビジュアルプログラミング)
- カムロボを動かす(2,5)  
(テキストプログラミング)
- ドローンを動かす(2,5)  
(テキストプログラミング)
- プログラミング大会(2)※本時  
まじめ(1)

大会に向けて準備している様子

先進プログラミング教育実践モデル校4校の発表を行いました。総合的な学習の時間の中にプログラミング教育を位置付けた指導計画や、各学年の発達の段階を想定した授業内容など、これから実践をしていく学校にとって参考になる内容でした。詳しい実践内容については、当センターWebページに掲載する予定です。是非御覧ください。

実践授業の様子

## 2 特別講演 演題 「始動人」が育つ:学校と社会の役割 講師:福田 尚久氏

私が考える「始動人」の方程式

分解力 X 創造力 X 動機付け



オンラインでの講演の様子

群馬県出身で元アップル本社の副社長。現在は、日本通信株式会社社長、前橋市スーパーシティ構想アーキテクトとしても御活躍の、福田尚久氏を講師としてお迎えしました。



講演後の質疑応答の様子

参加者の声（一部抜粋）

福田先生の描く未来の教育の在り方は、一部の能力の高い子供たちが対象になるのではなく、全ての子供が自分の興味を大切に学んでいくことができる教育であると感じました。また、「不可能だと思ふ事も、必ず解決できる方法（今日の講演内容では、分解力等）が存在する」ということにも、勇気もらった気がします。変化を怖がらず、論理的に正しいと導き出した答えには、自信をもってチャレンジしていこうと思いました。

### 3 長期研修員の研究発表

5 実践

授業実践① 事後

これまでは、児童が、自分の席で黙々と製作できることがよいと考えていたが、対話を通して主体的に課題を解決している姿を見て、考え方が変わった

1学期の頃と比べて、授業中の教師の発話や板書の量が少なくなり、児童主体の授業に変わってきたことを理解していた。



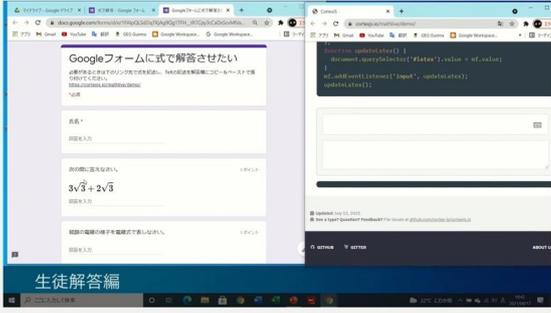
藤崎研修員は、「環境づくり」に着目した図画工作科の教科経営について発表を行いました。学校全体で授業改善に取り組む方法や、児童が創造的に自分の思いを広げる様子を、動画を交えて紹介しました。

「環境づくり」の視点を取り入れた、学習指導書の概要版「かんきょう手帖」も是非御活用ください。

3. 資料の活用

(1) 授業ミニテスト

アンケート作成ソフトに数式や化学反応式などで解答する方法



生徒解答編

ICT活用教育班では、「教師のための1人1台端末活用資料集」を作成しました。発表動画では、資料集の活用について、授業・校務・基本操作の3点から説明動画を交え、分かりやすく解説していました。

現場の声を基に作成したこの資料集を、是非授業や校務に御活用ください。

### 4 長期社会体験研修員の研究発表

部署紹介と研修内容

① 宅配サービス部

健康情報、商品のお届け

- ◇家庭、職域のお届け同行
- ◇新規のお客様、採用活動

② 未来価値創造部

職員児童生徒向け健康教室

- ◇教育機関への健康経営の提案
- ◇健康教室の実施

学校こそ教師が健康意識を高め健康に働ける環境が大切

☆学校経営の安定 ☆授業の質の向上

☆教員志望者増加 → 学校の質の向上

日本一先生方が生き生きと働く群馬県




滝川小学校での健康教室

白尾研修員は、企業研修における各部署での学びや、研究協力校で行った、キャリア教育の実践例などの発表を行いました。授業実践では、児童の「仕事に対する意識」の変容をねらいとした授業を提案しました。学校の授業で活用できる、「キャリア教育リーフレット」も併せて紹介しています。是非御活用ください。

今回のフェスタでは教育研修員の研究発表として、これからの教育に必要な情報を得られるような発表を目指しました。今回も多くの方に御視聴いただき、本県の教育の在り方や日々の授業改善について考えるよい機会となりました。今後も本県の教育について、魅力のある情報の発信を目指していきます。

## 第19回ぐんま教育賞 入賞者紹介

本年度は「杉の子賞」40編の中から、最優秀賞1編及び優秀賞3編を決定しました。最優秀作品及び優秀作品3編についての概要を紹介します。

### 最優秀賞

◎地域とともに「守る」・「伝える」心を育む教育活動の実践  
～総合的な学習の時間における伝統や文化の継承を通して～



岡松 亮（館林市立第四小学校）

本稿は、総合的な学習の時間において、児童が地域と共に我が国の伝統や文化のよさを共有し、継承していくことを目指した学習活動とその成果を示したものである。実際の箏の演奏や調査活動などの学習を通して、児童は地域で伝統を「守る」方々と協働し、校内から地域へと「伝える」対象や場面を段階的に広げていった。その結果、実感を伴って伝統を継承することの意義を理解し、自らの考えや思いをもって学んだことを表現したり、箏の演奏をしたりすることができた。

### 優秀賞

○小学校外国語科における一人一台端末活用の在り方  
～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～



長谷川 夏子（前橋市立桃瀬小学校）

小学校外国語科における一人一台端末の効果的な活用法の提案として、授業内での十の実践と、家庭学習の三つの実践をまとめた。具体的には、自分が英語を話している姿を動画で見ながらルーブリックシートに基づいて自己評価をしたり、身近にある英語の意味を調べてオクリンクのカードにまとめたり、AIに発音チェックしてもらったりした。一人一台端末導入により、今まで不可能だったことが可能となり、家庭学習の幅も広がった。

○主体的に数学の問題発見・解決に向かう生徒の育成  
～生徒が「問いを生み出す問題」と「思考をゆさぶる問題」の設定を通して～

上田 将大（富岡市立富岡中学校）

本研究は、中学校2年生を対象に、数学科において主体的に問題発見・解決に向かう生徒の育成を目指したものである。生徒から自然と「問い」が出るようにするため、「問いを生み出す問題」「思考をゆさぶる問題」を設定する。生徒が表出した「問い」を授業で解決していく授業展開を繰り返し行うことで、教師が問題を提示し、それを生徒が解決するといった今までの態度から、自ら問いを見だし問題解決に向かうようになった。

○農業教育における地域連携プロジェクトの取組

澁澤 遼子（群馬県立勢多農林高等学校）

現在、ヒトの生命活動を支える農業の重要性が再認識され、その産業形態も刻々と変化しており、農業教育もその変化への対応が求められている。本研究では、授業・研究部活動に地域連携プロジェクトを組み込み、将来地域産業の発展を担う生徒の資質・能力の育成を目指した。また地域密着型のプロジェクトを実施することにより、生徒の地元農業や食に対する意識にどのような変化があるのか、調査研究を行った。

※詳しくは、ぐんま教育賞Webページ【<https://center.gsn.ed.jp/kyoikusho>】を御覧ください。

# 令和4年度研修講座の変更点と 令和3年度教育研修員研修研究成果について

当センターでは、「第3期群馬県教育振興基本計画」や「群馬県教員育成指標」を踏まえて教職員の研修を体系化した「ぐんま教職員ステージアップシステム」に基づき、教職員の資質向上を目指し、研修を実施しています。令和4年度は、ICT活用の特性・強みを生かした学習指導要領の趣旨の実現に向けた教職員の指導力向上、国や県の動向や今日的な教育課題に対応した研修の充実を図るため、主に次のような変更等を行います。

## <令和4年度研修講座の主な変更点>

### 1 基幹研修

#### (1) ICT活用指導力向上に関する研修内容の充実

- ・1人1台端末の導入・活用による実践事例を踏まえ、ICTの活用や指導力向上に係る研修内容を充実させます。

#### (2) リーガルマインドに関する研修内容の充実

- ・リーガルマインドを尊重した教育公務員を育成するため、関係法規を取り入れた研修内容を充実させます。

#### (3) 実施しない研修講座

研修名	備考
中堅学校栄養職員資質向上研修	隔年実施のため、令和5年度に実施します。

### 2 指定研修

#### (1) リーガルマインドに関する研修内容の充実

- ・管理職や主事・主任が職場のコンプライアンス意識の醸成のための体制づくりを行うことができるよう、教育法規に関する内容を充実させます。

#### (2) 実施しない研修講座

研修名	備考
特別支援学校主任寄宿舎指導員研修	隔年実施のため、令和5年度に実施します。

#### (3) 廃止する研修講座

研修名	備考
高校道徳教育実践研修	同内容で高校教育課が主催する高校道徳教育連絡協議会に統合します。

### 3 希望研修

#### (1) ICT活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた教職員の指導力向上

- ・1人1台端末の導入・活用による実践事例を踏まえ、「授業にICTを活用して指導する能力」「児童生徒のICT活用を指導する能力」等の向上に係る研修内容を充実させます。

#### (2) 新設する研修講座

- ・児童生徒の自死防止に向けて、児童生徒が発する不安や悩み、こころのSOSに気付き、声を掛け、話を聴き、必要な関係者につなげ、見守ることができる教職員を育成するために、「ゲートキーパー養成研修講座」を新設します。

### (3) 統合・廃止する研修講座

研修名	備考
特別支援学級基本研修講座	指定研修「特別支援学級新任者研修」に統合します。
はばたく群馬の指導プランⅡ研修講座 特色ある高校教育推進研修講座 カリキュラム・マネジメント推進研修講座 学校組織マネジメント推進研修講座 若手教職員のための学校運営参画研修講座 学校経営ステップアップ研修講座 『チームとしての学校』推進研修講座 教職員多忙化解消推進研修講座 地域とともにある学校づくり研修講座	オンデマンド用コンテンツに移行します。

## 4 公開講座

### ○持続可能な開発のための教育（ESD）に関する研修内容の充実

- ・持続可能な社会の構築を目指して、自分の頭で未来を考え、動き出し、生き抜く力をもった“始動人”の育成について考える公開講座「SDGsの実現を目指した人材育成セミナー」を新設します。

## 5 その他

### (1) ハイブリッド型研修の推進（深化）による受講環境の充実

- ・集合研修とオンライン研修のそれぞれのよさを生かして最適化された受講形態による研修を実施します。発言や意見の共有が容易であること、主体的な参加を促すことが可能であることなどの優位性を生かし、ライブ配信（双方向）によるオンライン研修を積極的に導入します。マインド醸成、チームビルディングやエンゲージメントの強化、仲間との協働といった非認知能力の開発に重点を置いた研修等は集合研修を中心とします。（例）初任者研修、管理職研修

### (2) サテライト方式による研修の廃止

- ・当センターで実施している研修講座の一部を所外で実施するサテライト方式については、ライブ配信（双方向）によるオンライン研修の導入に伴い、その役割を終了して研修支援隊に統合します。

### (3) オンデマンド用コンテンツの充実

- ・群馬県教員育成指標の項目、各キャリア段階等に応じた動画を作成・集約し、センターWebページに掲載します。時間や場所に制約されることなく、自立的かつ継続的に学ぶことができるようにしていきます。

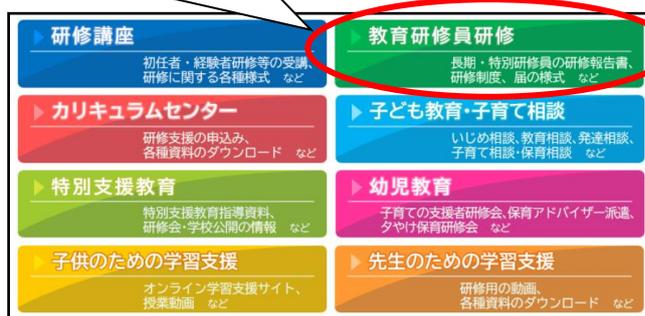
### (4) 研修講座案内及び初任者研修・中堅教諭等資質向上研修の手引きのデジタル化

- ・当センターの上記刊行物については、令和4年度から紙媒体による配布を廃止し、Webページへの掲載のみとします。

### <令和3年度教育研修員研修研究成果について>

令和3年度教育研修員研修（長期研修・長期社会体験研修・特別研修）の研究成果を当センターのWebページに掲載します（3月下旬予定）。研修員が今日的な教育課題の解決に向けて努力してきた1年間の成果がぎっしりと詰まった報告書や、日頃の授業や学級経営に生かせる資料等を掲載します。是非御覧ください。

当センターWebページのトップページから「教育研修員研修」のボタンをクリック [【https://center.gsn.ed.jp/】](https://center.gsn.ed.jp/)



## 教育の情報化推進に向けて

児童生徒の情報活用能力の育成と教員のICT活用指導力の向上に向けて、当センターでは次のような研修講座を企画しています。

### ICT活用指導力向上研修講座

先生方のICT活用指導力向上を支援するため、令和4年度は、「1人1台端末を活用した授業実践例」「情報モラル教育」「業務効率化」の内容で実施します。※選択受講可能

主な内容	
<b>【1人1台端末の活用】</b> ＜授業実践例（小、中、高、特）＞ ※オンライン研修 1人1台端末を活用した授業について、県内学校の実践事例の発表	
<b>【情報モラル】</b> ＜ゲーム依存症やネットトラブルへの対応＞ ※オンライン研修 ゲーム依存症やネット被害など児童生徒が直面している情報モラルの課題に対する、法教育やルール作りなどの対応 ＜1人1台端末時代に児童生徒が身に付けたい情報モラル＞ ※オンライン研修 児童生徒が1人1台端末を活用する上で身に付けさせたい情報モラル	
<b>【業務効率化】</b> ＜表計算ソフトの活用＞ ※集合研修 表計算ソフトの業務効率化に向けた活用方法 ＜Google Workspaceの活用＞ ※集合研修 Google Workspaceの業務効率化に向けた活用方法	

### 小学校プログラミング教育研修講座

令和4年度は、プログラミング教育への理解を深めるため、これまでの内容に、「小・中・高のつながりを意識したプログラミング教育の取組」を加えて研修を実施します。

主な内容	
＜小・中・高のつながりを意識したプログラミング教育の取組＞ ※オンライン研修 ◇技術科研修講座、共通教科情報と合同開催 小学校、中学校、高等学校におけるプログラミング教育の必修化の背景やこれからの展望	
＜小学校プログラミング教育の授業実践（算数、理科、総合）＞ ※オンライン研修 教科におけるプログラミング的思考を育むための具体的な指導方法 ＜算数科・理科におけるプログラミング教育の授業実践例＞ ※集合研修 算数科・理科におけるプログラミング的思考を育むための具体的な指導方法 ＜プログラミング教育の取組＞ ※集合研修 小学校プログラミング教育の授業づくりと様々な教材を活用した効果的な指導	

日程等の詳細は、講座案内及び当センターのWebページを御覧ください。皆様の御参加をお待ちしております。

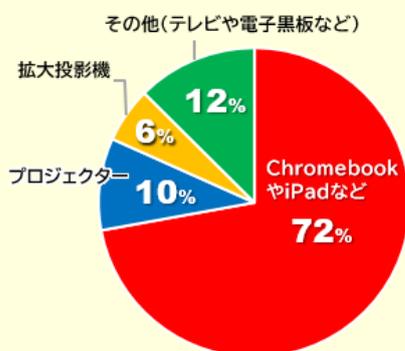
# 特別支援教育センター：特別支援学級における ICT 活用

新しい時代に求められる児童生徒の育成を目指し、ICTを積極的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るため、特別支援学級に在籍する児童生徒を担当する先生方にICT機器の活用に関するアンケートを実施しました。アンケート結果から、多くの先生がICT機器を活用していることが分かりました。また、課題として「教師の知識・指導力」「児童生徒や教師によるICT機器の操作などの技術」などが挙げられました。

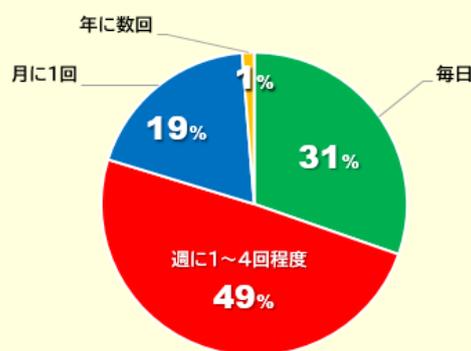
## 特別支援学級におけるICT機器の活用に関するアンケートの結果

令和3年度に当センターで実施した特別支援学級新任者研修と希望研修を受講した84名が対象

### どのようなICT機器を活用しているか

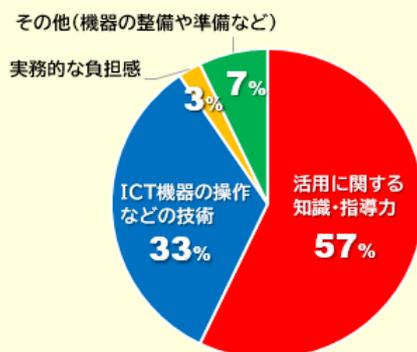


### どの程度の頻度でICT機器を活用しているか

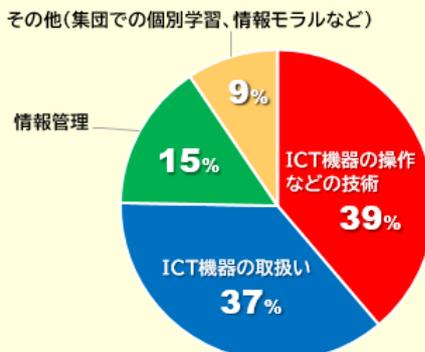


### ICT機器を活用するに当たって、教師や児童生徒の課題となることは何か

#### 【教師の課題】



#### 【児童生徒の課題】



## 日々の授業や校内研修で役立つ資料の紹介

特別支援教育センターでは、特別支援教育の推進に役立つ資料を発行しています。

令和3年度は、上記のアンケート結果を踏まえ、日々の授業づくりや校内研修に活用できる資料として、「今日からやってみよう！特別支援学級におけるICT活用」を発行する予定です。

資料は令和4年3月頃、当センターWebページに掲載予定です。

【 <https://center.gsn.ed.jp/tokushi/sidousiryou> 】

今日からやってみよう！  
特別支援学級におけるICT活用



群馬県総合教育センター  
令和4年3月

## 「保育アドバイザー派遣」について



幼児教育センターでは、幼児期の教育や家庭教育の充実を目指し、保育所、認定こども園、幼稚園、学校、公民館等で行う講演会や研修会、保護者会に、経験・知識ともに豊富な保育や教育の専門家である「保育アドバイザー」を講師として派遣しています。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の関係で、保育アドバイザーの派遣が延期になったり中止になったりしたこともありましたが、そのため依頼数もやや少なめでしたが、実施した園所・学校等から「とても有意義だった」「来年も派遣してほしい」等のお声を多数いただいています。

**是非、来年度の活用を御検討ください。皆様からの申込みをお待ちしています。**

これまでの実績の一部を掲載します。

- 園内研修・校内研修
- 講演会・各種研修会
- 保護者会・親子行事
- 子育ての支援者の研修 など



原則、年間1回は無料で派遣できます！

### 1 令和3年度の保育アドバイザー派遣の主なテーマ

#### ◎保育所、認定こども園、幼稚園、子育て支援団体

##### 【教職員向け・子育ての支援者向け】

- ・「保護者との関係づくり」
- ・「幼保小の連続性の考え方について」
- ・「発達に課題をもつ子供と保護者への支援」
- ・「乳幼児の発達や内面の育ちに寄り添う保育」
- ・「幼児期に必要な運動的な遊び」
- ・「幼児理解と環境の構成」
- ・「食育や心身の健康・安全」

##### 【保護者向け】

- ・「子育ての楽しみ方～絵本を通して～」
- ・「子育てに大切なこと」
- ・「親子のふれあいの大切さについて」
- ・「読み聞かせっておもしろい」

##### 【親子向け】

- ・「親子のふれ合い遊び」

#### ◎学校

##### 【教職員向け】

- ・「幼小中連携・接続について」

##### 【児童生徒向け】

- ・「子供の人権について」

##### 【保護者向け】

- ・「小学校生活のスタートにあたって」
- ・「子供の発達の理解と支援の在り方」

### 2 保育アドバイザー派遣の申込み方法について

- ①相談書提出：日時や内容、講師などを電話で相談（相談書をメール又はFAXで提出）
- ②派遣依頼書提出：講師決定後、派遣依頼書をメール又はFAXで提出
- ③実施報告書提出：派遣終了後、実施報告書を1週間以内にメール又はFAXで提出

申込先

群馬県総合教育センター 幼児教育センター

【TEL】0270-26-9203（直通）【FAX】0270-26-9222【e-mail】youji@edu-g.gsn.ed.jp

詳しくは、幼児教育センターWebページを御覧ください。【<https://center.gsn.ed.jp/yokyo>】

## 自立支援アドバイザーの取組

当センターでは、「いじめ対策・不登校支援等総合推進事業（文部科学省）」として、県教育委員会義務教育課や各教育事務所、市町村教育委員会と連携しながら県内の不登校対策に取り組んでいます。

今年度も、当センターに「派遣型自立支援アドバイザー（以下、自立支援アドバイザー）」が2名配置となり、教育支援センター（適応指導教室、以下、教育支援センター）や学校のニーズに応じて、児童生徒の多様な課題の解決に向けた支援を行ってまいりました。

「自立支援アドバイザー」は、県内各市町村教育委員会等から派遣依頼があった場合に、教育支援センターや学校に訪問して支援を行っています。今年度の活動状況を紹介します。

## 今年度の自立支援アドバイザーの活動の紹介

当センターに配置された2名の自立支援アドバイザーは、公認心理師、社会福祉士の有資格者であり、福祉的な視点から教育支援センターが抱える様々な課題解決に向けた支援を行いました。

業務内容については、以下のようなものがあります。

- ・教育支援センターに通室する児童生徒や保護者との面談
- ・教育支援センター等における対応困難な事案に対しての助言
- ・ケース会議でのアセスメント  
（様々な情報を基に総合的・多面的に判断し、見立てを行うこと）
- ・指導員、相談員の資質向上のための講義
- ・教育支援センター運営に関する情報提供
- ・子ども教育相談室における研修 等



### 教育支援センターでの活動

通室する児童生徒の活動の様子を参観したり、活動と一緒に参加したりする中で、児童生徒に対する行動観察を丁寧に行いました。その上で、児童生徒に支援・指導を行う指導員が抱える指導上の悩みや不安の解消に向けて、具体的な取組を提案することで、よりよい支援につなげることができました。

また、通室する児童生徒の保護者との面談では、子供と接する中で保護者の抱えている困り感に寄り添いながら、児童生徒の現状を確認し、保護者の意向を聴き取ることで、今後の対応策を一緒に考えたりアドバイスをしたりしました。こうした取組を継続することにより、子供自身で意思決定を行って一歩踏み出し、進級・進学に向かうことができるようになっています。

今後も、教育支援センターに対する支援や学校と教育支援センターの連携・支援を継続して行っていきます。

### 市町村が主催するケース会議での講演や助言

市町村が主催し、教育支援センターの指導員や相談員が参加する研修会で、講演や講義を行いました。不登校児童生徒、保護者に対する支援の在り方をテーマとし、包括的な支援やチーム支援、児童生徒の現在の状態を正しく見取るための観察のポイントについて講演しました。また、詳細なニーズを引き出すための質問の仕方など、実際の対応事例を交えて講義を行いました。相談者の対応や心構え、他の機関との連携にどのようにつなげていくか等、研修会後からすぐに実践することができる具体的な対応策を学ぶ機会となりました。学校と教育支援センターが連携を図っていく上で、共に研修する場を設けることも重要です。今後も、御要望に合わせた支援を行ってまいります。



## 当センターへ来所される方へ

### 総合教育センター駐車場について

当センターへ車で来所される場合は、図のとおり建物東側にある正門から入り、「受講者用駐車場」に駐車してください。

御協力をお願いします。



### 編集後記

過日、オンラインでの開催となった令和3年度ぐんま教育フェスタでは、多くの皆様に御視聴いただきました。また、先進プログラミング教育実践モデル校の発表動画、特別講演や教育研修員の研究発表に対して御意見・御感想をいただき、誠にありがとうございました。今年度のフェスタは、「始動人が創る新たな時代」をテーマに、参加者の皆様に「役に立った」と思っていただけの企画になるように準備をしました。御視聴いただいた皆様から、教育に関する熱い思いのこもったメッセージをいただき、当センターとしてもこれからの群馬の教育について考える機会となりました。現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応を含め、年度末に向けて各学校・園では御多忙のことと拝察します。当センターでも、皆様に安心して有意義な研修を受けていただくために、研修方法を工夫し、内容を充実させていきます。令和4年度も引き続きよろしくお願いたします。

(文責：K.N)